

# futbol y vida

Poco a poco ...  
Poco a poco ...



2023年 岡山学芸館の優勝で幕あけ!!  
冬の“鍛錬期”、試練が人を強くする!!

2023年 新年あけましておめでとうございます!!



“K's football style” を進化させ、新たな景色を見に行く!!

新年あけましておめでとうございます!! 本年も宜しくお願い致します。

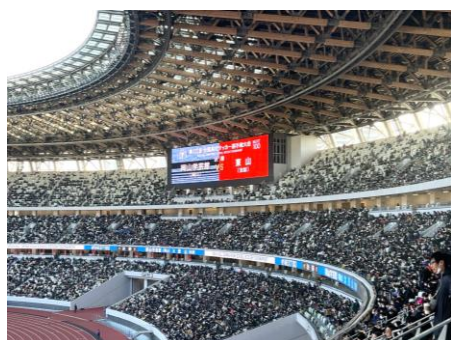
そして、引き続き片倉高校サッカー部の応援&サポートを宜しくお願い致します。

2023年元旦も日本各地で綺麗な「初日の出」が見られました。今年の卯年は「次の新たな生命が成長し始めている状態を意味し、何かを開始するのに縁起が良く、希望に溢れ、景気回復が好転する良い年になる」と縁起の良さを表していると言われます。これまでの努力が実を結び、勢い良く成長し飛躍するような年とも考えられます。自分で立てた目標や夢に向かい（2023目標設定シートに書いたことを実行に移す）勇猛果敢に邁進し続けて欲しいものです。

さて、新年は6日からスタートとなりました。OFF明け初日から金井コーチの負荷の高いトレーニング、先週日曜日は今年度最初のTRM（大成高）、今週末には駒大高、本庄東高校が予定されています。いよいよチームは“鍛錬期第二弾(1月、2月)”のトレーニングに突入しました。一年間で一番トレーニング強度が高く、負荷のかかる辛い時期ですが、ここを乗り越えてこそ次の展望が見えてきます。強豪校や伝統校と呼ばれているチームは当たり前のようにやっています。昨年度の片倉高校の結果は全てこの時期のトレーニング成果であると思っています。今年も目の前（現在）の厳しいトレーニングを乗り越えて先ずは二月の新人戦に繋げていきたいものです。

第101回全国高校サッカー選手権大会(Next 1∞)が開幕!!

今回で101回目を数え、次の100回に向けてスタートを切った正月恒例の「全国高校サッカー選手権大会」では、東京都代表二校成立学園と國學院久我山高校が健闘しました。特に、國學院久我山高校は今大会初優勝した岡山学芸館高校に終始主導権を握ったまま得点を奪えずにPK合戦の末敗退。勝負にはタラレバはありませんが、勝っていたら…?年々全国の地域格差が小さくなる中に於いて勝ち上がることも容易ではありませんが、東京のチームで唯一全国優勝しているのは帝京高校でありその回数はなんと戦後最多タイの6回。打ち破ることのできない凄偉い記録です。



<新国立競技場で選手権決勝戦は過去最多の50,868人が集まった

## 記念すべき **101** 回高校サッカー選手権大会は岡山学芸館高校が悲願の**初優勝!!**

第 101 回目を迎えた「全国高校サッカー選手権大会」は、下馬評では優勝候補に名前の挙がらなかった二チーム、**岡山学芸館**（岡山）**VS 東山**（京都）が初優勝を目指して決勝戦で激突しました。ともに、準決勝では九州の雄である**神村学園**と前回準優勝の**大津高校**を PK 合戦の末撃破し勝ち上がってきました。キックオフ直後から J 下部出身者の多い東山がスキルの高さを見せつけますが、岡山学芸館のハードワークと囲い込み守備網の前に決定機は作れませんでした。すると、前半 25 分、岡山学芸館の今井選手が右サイドからドリブルで攻め込み、ゴール前に入れたクロスが相手選手に当たりオウンゴールで先制しました。しかし、前半終了間際に東山の**真田選手**が見事なミドルシュートを決めゲームは振り出しに戻り前半を終了します。



＜決勝戦で木村選手2ゴール＞

後半は、立ち上がりからアグレッシブに相手ゴールに迫った岡山学芸館が後半 7 分、左サイドからのクロスボールを**木村選手**がヘディングで決め勝ち越し。その後も、東山の両サイドを起点とする攻撃からピンチを招く場面もありましたが、キャプテン**井上選手**中心に DF 陣が粘り強く対応し、二年生 GK **平塚選手**のファインセーブも飛び出し得点を与えません。すると、後半 40 分、ゴール前へのスローインのこぼれ球を再び木村選手が決めて**3-1**とリードを広げこのままタイムアップ。岡山学芸館高校が岡山県勢として悲願の**初優勝**を果たしました。



### ＜岡山学芸館は高校サッカーへ新たなスタイルを示し悲願の**初優勝**＞ <PK 戦では強さを見せた> <After the Game>

2023 年がスタートしました。前述の通り今年の選手権大会では、**岡山学芸館高校**が新たな高校サッカースタイルを示して初優勝を飾りました。**おめでとうございます!!**ここに辿り着くまで**高原監督**にも紆余曲折があったと聞きます（ライセンス取得時に一緒でした）。チーム立ち上げ時から二人三脚で歩んできた**吉谷コーチ**や高校時代の恩師で G A を務められた**平清孝氏**のサポートも見逃せません。監督就任 15 年（コーチ時代含め 20 年）、苦労の方が絶対に多かったはずですが、立ち上げ最初に手を付けたのは、挨拶指導や学校生活をしっかりやる、グラウンド整備の徹底といえます。本質的な所をブラさずに熱い教育をコツコツと積み重ねてきた成果が予想以上の結果を導いたのだと思います。何事も物事を成就するためには時間が掛かるものだと改めて感じました。

さて、先日子どもたちには「**片倉高校サッカー部 長期目的・目標設定シート**」を配布しました。自分たちが設定した「**2023 年の目的・目標達成に向けて**」、全ての基本となる日々の生活をどのように過ごしていくのかを記入し常に振り返られる（反省）ようにシートは設定されています。

**「反省」とは、未来のために行うもの!!** 子どもたちの机や部屋に貼るように指示をしましたので、今年はどうのような目標を立てて実行していくのか、是非、ご確認下さい。